

株式会社アジクル / AJI-CLE Co., Ltd.

info@aji-cle.co.jp

<https://www.aji-cle.co.jp>

2023年7月20日

Green Carbon 株式会社との Bangladesh における農業を通じたカーボンクレジット創出事業に関する MOU 締結について

株式会社アジクル（以下「当社」）は、包括業務提携先である UGI Group、ANTAR Society for Development（以下、ANTAR）とともに、CO₂ 削減事業、CO₂ 削減植物研究開発事業などに取り組む Green Carbon 株式会社様（以下、GC 社）との間に、Bangladesh における農業を通じたカーボンクレジット創出事業に関する合意覚書（MOU: Memorandum of Understanding）を締結したことをお知らせいたします。

Green Carbon 株式会社（<http://green-carbon.co.jp/>）（外部リンク）

本事業は、Bangladesh のマイクロファイナンス機関を通じて、現地の稲作農家に対し、温暖化ガス（以下、GHG）の発生量削減に資する農法を導入、GHG 削減量を計測することで、その差分からカーボンクレジットを創出し、認証を経て販売、収益シェアを目指すものです。

弊社は、マイクロファイナンス機関との連携による農家提携、営農指導、データ計測、現地政府調整などを図り、GC 社は、農法など技術導入、カーボンクレジット創出・販売などを担うことで、Bangladesh における稲作農家の新たな収益機会の創出、ネガティブエミッションを通じた GHG 削減、気候変動対策に貢献します。

Bangladesh は、温暖な気候、豊かな土壌と農業技術開発により、年に 3 回の稲作周期をもって世界第 3 位の稲作生産量（3,760 万トン）を誇る農業国です。延べ 1,171 万 ha の水田からは、3,515 万トンの GHG 削減量、カーボンクレジット創出量にして 1,055 億円の経済価値を生み出す潜在性を有しています。

（GHG 削減量は、3 トン/ha、カーボンクレジット創出量は、3,000 円/トンにて算出）

（参照：Agricultural Statistics of Bangladesh 2021, Bangladesh Bureau of Statistics）

（比較：日本の作付面積…140.3 万 ha（農水省、2021 年））

弊社の戦略として、UGI Group が有する地理データを活用したデジタル営農指導システム GEOBIS を活用し、ICT を活用した農業プロセスデータ収集を行うことで、カーボンクレジット創出のためのデータ計測を行います。また、本事業は、2023 年度 新興国 DX 等新規事業創造推進支援事業に採択されております。

（<https://www.jics.or.jp/hojokin3/index.html>）（外部リンク）

さらに、当該農業プロセスデータを、カーボンクレジット創出目的のみならず、営農指導、マイクロ保険組成のための解析を行うことで、マイクロエンタープライズ事業、マイクロ保険事業、データエコシステム事業への進化を目指します。

引き続き、弊社は、パートナーである Bangladesh の現地財閥 UGI グループ、マイクロファイナンス機関 ANTAR との提携の下で進めて参ります。

以上

株式会社アジクル / AJI-CLE Co., Ltd.

info@aji-cle.co.jp

<https://www.aji-cle.co.jp>

(地理データに基づくデジタル営農指導システム GEOBIS パンフレットより抜粋)



(GEOBIS 利用農家の様子)

(バングラデシュの水田 (クミラ県、2022年10月))



(新興国 DX 等新規事業創造推進支援事業 事業概要)

様式1別紙4

新興国DX等新規事業創造推進支援事業費補助金 (インド太平洋地域ビジネス共創促進事業) 日本国際協力システム

株式会社アジクル

AJI-CLE Co., Ltd.
<https://www.aji-cle.co.jp/>

<https://www.aji-cle.co.jp/>

- 所在地：神奈川県横浜市中区北仲通-33
- 従業員：1名
- 会社設立年（西暦）：2016年
- 事業内容：マイクロ保険事業開発、データソリューション事業

事業名

農業分野におけるデジタル営農指導とカーボンクレジット創出に係る実証(バングラデシュ)

新興国企業等との協力・連携

UG社とのデジタルサービス開発、データ収集での連携
ANTAR社との金融・営農指導での連携



現地の経済・社会課題

- バングラデシュは世界第3位の米生産量を誇る。
- 一方、農業におけるカーボンクレジット創出は、知見、システムの不足により妨げられており実現していない。

実証手法とその内容

- データ収集機能を用いて農業プロセスデータを収集し、カーボンクレジット創出を図る。
- カーボンクレジット販売による収益とデータベース活用によるバリューチェーン改善による収益を目指す。

期待される裨益効果

- カーボンクレジット販売による収益還元
- 農業における生産性、収益性の向上
- マイクロ融資・保険など金融商品による農業の安定性向上